

平成 28 年 12 月 19 日
北海道大学大学院農学研究院

登山道ボランティアの意識に関するアンケート調査

今年度は、5 月から 9 月にかけて、日本山岳会北海道支部、パークボランティア、富良野山岳会、協働型登山道整備事業の参加者に、ボランティアの参加実態や意識を把握することを目的としたアンケート調査を実施し、合計で 107 名のご回答をいただくことができました。調査にご協力いただいた方々に、心から感謝申し上げます。

調査の結果

1. 回答者の属性

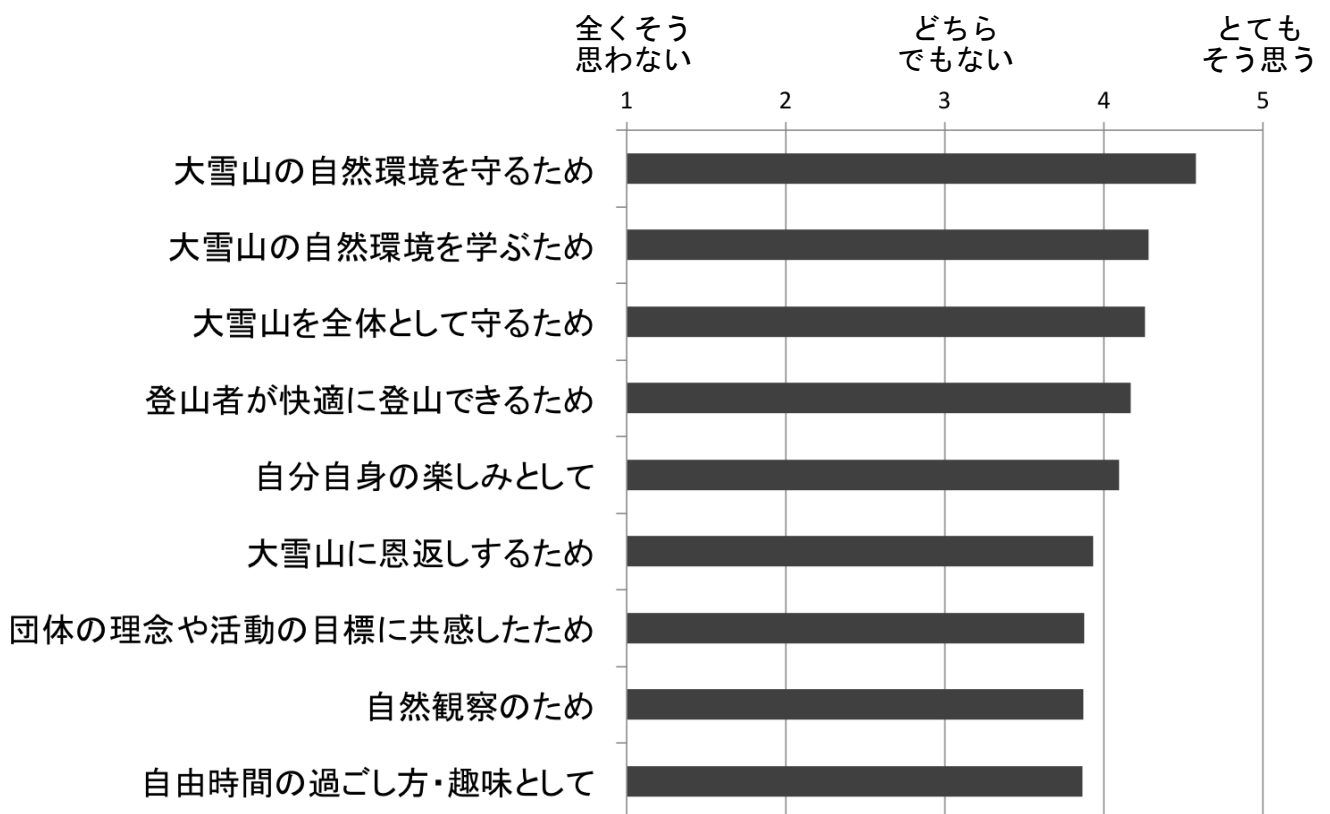
性別：男性 61%、女性 39%

年齢：30 代以下 6%、40 代 14%、50 代 19%、60 代 38%、70 代以上 23%

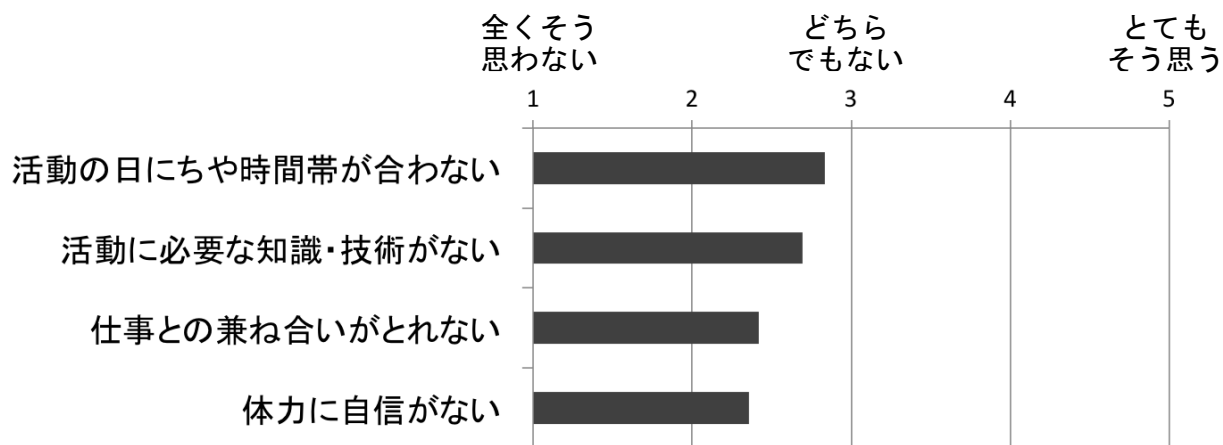
活動頻度：初めて参加 12%、年 1 回以下 12%、年 2-3 回 47%、月 1-2 回 29%

活動歴：1 年未満 13%、1-3 年 23%、3-10 年 21%、10 年以上 43%

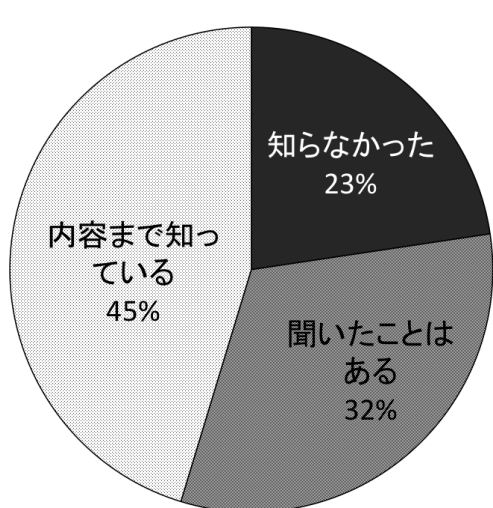
2. 活動に参加する理由（全 21 項目のうち上位 9 項目）



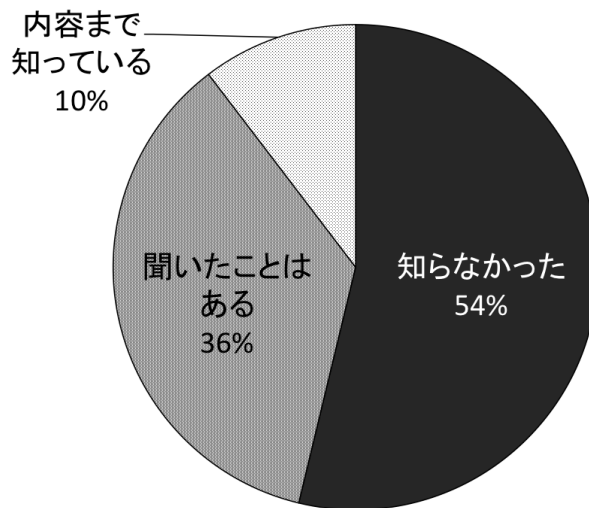
3. 活動の参加の妨げとなっていること (全 11 項目のうち上位 4 項目)



4. 「大雪山グレード」及び「登山道整備技術指針」の認知度



大雪山グレードの認知度



登山道整備技術指針の認知度

5. 登山道の維持管理活動への協力意向

